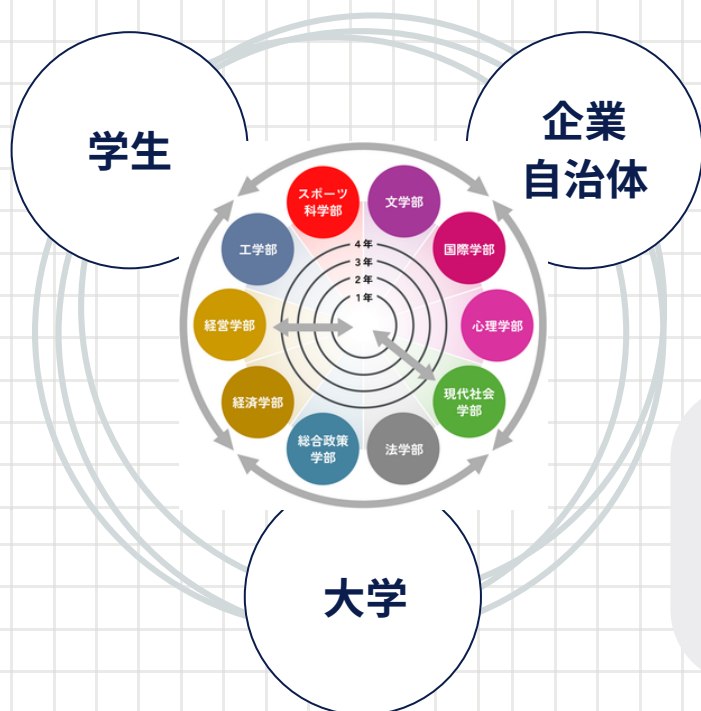




社会連携教育とは

教室での学びを社会に持ち出し、企業や自治体と協働しながらリアルな課題にチームで挑む実践的プログラムです。学生は現場での試行錯誤を通じて、未来を切り拓く力を身につけます。

社会連携相談フォーム

学生・ゼミナールとの連携
をお考えの方は
ぜひご相談ください



学部横断型プロジェクト

学部の枠を超えた多様な専門性を持つ学生が集結し、社会のリアルな課題に挑むプロジェクト



① レッドクルーザーズの魅力PR・ファン創出プロジェクト



② 瑞穂公園南ひろばリニューアルイベント



③ ラリージャパンにおける豊田市PRプロジェクト



④ プロスポーツチームファン創出共創プロジェクト



⑤ 現役社員と一緒に創る！本気の新規事業開発プロジェクト

⑥ AIを活用した星ヶ丘活性化プロジェクト



中京チャレンジ

学生自らが社会課題を発見し、解決策を企画・実行する。大学が奨励金等で主体的な挑戦をバックアップ。

- ✓ 学生の食生活改革プロジェクト
～捨てられる米ぬかから作る超高栄養食～
- ✓ 大学と地域の架け橋プロジェクト
- ✓ プログラムに関する学習問題をゲームで解決しよう!
- ✓ 中学生キャリア教育プロジェクト～頑張りたいが生まれる学校～



授業×社会連携

普段のゼミや授業の枠組みの中で企業・自治体等と連携し、専門知識を実社会のビジネスや地域活性化に活用。

- ✓ (経営学部) 自動車シート端材のアップサイクル
- ✓ (スポーツ科学部) 地域店舗と連携した"アスリートスイーツ"
- ✓ (経営学部) 飛騨市池ヶ原湿原ヨシ循環エコシステム
- ✓ (経営学部) 桑名市中心市街地ブランディング
- ✓ (現代社会学部) 松平郷「竹あかり」イベント活性化



ラリージャパンプロジェクト ツーリズムとよた×中京大学

ラリージャパン

ラリージャパンは、FIA世界ラリー選手権（WRC）の一戦として開催される日本唯一の公式戦です。

2004年に第1回大会が北海道・十勝地方で開催され、第5・6回は道央地域へ移動し、2010年まで北海道で計6回開催されました。

2022年11月に12年ぶりに愛知県・岐阜県を舞台に復活し、2026年大会で通算11回目を迎えました。



プロジェクト ミッション

観戦者のおもてなし & 豊田市のPR
in 三河湖SS



2025年度 実施内容

活動期間：2025年7月～2025年12月

メンバー：6名

企画概要：

豊田市産の茶葉を使用した
ほうじ茶の配布



豊田市の名産品や観光に
関するクイズを盛り込んだ
ミッションラリー



希少車両の展示



選手情報やチームの特色を
紹介するアナウンス



引退選手応援企画



2026年度 実施内容

活動期間：2026年2月～2026年6月

メンバー：6名

企画概要：

【ラリー大学 三河湖サテライトキャンパス】

- ・豊田市やラリーに関するクイズ
- ・反射神経テスト
- ・エンジン音聞き比べクイズ



【展示】

- ・勝田貴元選手の活躍や歩み
- ・豊田市とラリージャパンの歴史



【配付】

- ・香恋の館 監修のお菓子
- ・オリジナルステッカー
- ・応援フラッグ



瑞穂公園連携プロジェクト 瑞穂LOOP-PFI

瑞穂公園

名古屋市のほぼ中心にあり、公園の中を山崎川が斜めに横断しています。
縄文時代（約1万年前）にはこの山崎川が瑞穂公園付近で海に流れ込んでいたため、貝塚や古墳等の遺跡も発掘されており、歴史の流れを楽しむことができます。

また、2026年に開催されるアジア競技大会・アジアパラ競技大会のメイン会場となり、陸上競技場をはじめとする様々なスポーツ施設を備えています。



パロマ瑞穂スタジアム外観



プロジェクト概要

Mission

南ひろばリニューアル（2025年10月）にあわせて
”〇〇がつながる”イベントを企画・実施せよ！

プロジェクト期間：2024年12月～2025年11月

学内公募で集まった 学部・学年が異なる24人 の学生で活動



アジアを遊びつくせ！～Asia Playing in MIZUHO～

アジアの遊びブース

2025年10月25日実施



- ① シアンイェンパイ（中国）
- ② コンギ（韓国）
- ③ トゥホ（韓国）
- ④ ニーロコ（ベトナム）
- ⑤ パティンテロ（フィリピン）
- ⑥ チュンギ（ネパール）
- ⑦ タスポニー（日本・名古屋）
- ⑧ イベント チラシ
- ⑨ 入国
- ⑩ 出国
- ⑪ フォトモザイクアート
- ⑫ ランタン制作
- ⑬ ランタン点灯
- ⑭ 缶バッチ制作

体験ブース



アンケート

■ とても満足 ■ 満足 ■ 普通 ■ 不満 ■ とても不満



来場者全体として63%が「満足」以上

アジアの遊びブースは83.3%が「満足」以上

子どもなりに海外のことを興味を持つきっかけになった
という回答もあった



結果

来場者数 600名想定 ⇒ 1,200名 来場

学生が、地域資源（公園）と人と
をつなぐ企画にコミット
⇒ 地域連携・企業連携の価値創出



地域資源を舞台に、多様なつながりを生むイベントに